



## 生活の中の伝統行事とお年玉と

校長 柿崎 洋一

本年多くの保護者や地域の皆様にお力添えいただき、ありがとうございました。昨年度の学校だよりでは、伝統行事のこととお年玉のことをそれぞれ書いていましたが、再掲になりますので、昨年度の2本をコンパクトにして掲載させていただきました。

### 〈冬至や鏡餅の意味〉

さて、2学期終業式に私は、「生活の中の伝統行事」について子供たちに話をしました。例えば「冬至（とうじ）」。12月22日にあたりますが、昼の長さが最も短く、午後4時30分頃が日の入りで、暗くなってしまいます。かぼちゃを食べたり、ゆず風呂に入ったりして、この日を境に新しい年に向けて運をよくするとともに、悪いものを追い払うという話でした。また、「鏡餅」について、年末に餅つきをするのは、「歳神様」をお迎えして「新しい一年が幸せでありますように」と願うためです。鏡餅は、お正月の間、その歳神様がゆっくり過ごされる場所だそうです。鏡餅の上に乗っているのは現在みかんが主流ですが、昔は「橙（だいだい）」というみかんに似た果物で、家が「代々」続くようという意味がありました。

### 〈奈良・平安・室町時代から伝わる伝統料理〉

お正月は、古くから伝わる伝統行事の意味を改めて知り、実際に触れながら生活することで、日本人としてのアイデンティティを再認識する良い機会です。ここでは、「おせち」について述べてみます。漢字では「御節」と書きます。暦の節目を祝うため、神様にお供えして食べるものを「御節供（おせちく）」と呼ばされました。その儀式は、奈良・平安時代にはあったとのこと。江戸時代には庶民に広がり、お正月に振る舞われる料理を「おせち料理」と呼ぶようになりました。正月三が日は、煮炊きをする「かまど」の神様に休んでもらおうという気持ちや主婦を家事から解放するという意味から、重箱に詰めるということが広まり、保存の効く食材が中心となったようです。重箱に詰めるのは、「めでたいことを重ねる」や「来客に振る舞いやすい」という説もあります。食材にも様々な意味があります。例えばニシンの腹子である「数の子」は、卵の数が多いことから子孫繁栄を願うとか、「伊達巻」は、形が巻物に似ているため知識が増えるようにとか、「昆布巻」は、「よろこぶ」に通じる等、それぞれ縁起が良いとされているものです。

### 〈お年玉について-「無駄遣いせず貯金を」から「よく考えて使いなさい」へ-〉

さて、お年玉の由来はお金ではなく、「お餅」です。「御年魂（おとしだま）」として魂が宿った鏡餅を分けたことが始まりで、今のようにお金になったのは江戸時代から。一般的になったのは、昭和30年代からのようです。

そのお金のことで、私自身振り返ると我が子に対して、「無駄遣いせず、きちんと貯金しておきなさい。」と親が預かり、子供名義で作った通帳に入れていきました。そのかいあって、社会人になるためのまとまった支度金になり助かった記憶があります。それはそれでお金に関する「しつけ」ということで、間違ってはいなかったと思いますが、近頃は、どうもそれだけではいけないようです。それは、「お年玉をもらうこの時期こそ、親子でお金のことを考えよう」というものです。「お金はどこからくるのか」「おこづかいとは何か」「どうして大事に使わないといけないのか」等会話の中で切り出して子供の答えを楽しみ、親の考え方を伝える。お金の使い方や考え方は生活習慣なので、ある意味、親の生き方を伝えることになります。

もう一つ大事なこととして、「貯める」と同じように「使う」を体験させるということです。私のように「貯金しておこうね。」と一方的に決めると、「お金は貯めるためにあるもの」「お金を使うのはもったいない」という偏った考え方をもち、上手に使うことができなくなってしまうかもしれません。ですから、「よく考えて使いなさい。」という声掛けが大切のようです。「いくら貯めて、いくら使うのか」「使うならば、その使い道は」と親子で話し合うことが勧められています。その体験が収入・予算・支出・貯蓄等の概念形成やそのトレーニングになります。

お金についてはいまどきの新たな課題もあります。今はすっかり日常生活に定着した感のある電子マネー、コロナ禍もあって、急速に普及し、小学生でも使う子供たちが増えています。キャッシュレスの時代は、ともすれば、実感が希薄で、管理が曖昧にもなりがち。チャージ（入金）するにも銀行口座とつながっていることや、時には意図的に現金を使い、硬貨やお札を見る機会をつくり、消費する感覚も学ぶ必要があるかもしれません。

お正月にちなんで、伝統行事やお年玉についてまとめてみました。どうぞよいお年をお迎えください。

# 1月の予定

★の印は特別時程で、下校が35分程早まります。SCの記号は、スクールカウンセラーの来校日です。

日	曜	学校行事等		その他	授業時数							
		○中の数字は学年を、 ( )中の数字は時間を表します。			1年	2年	3年	4年	5年	6年		
1月1日(木)～1月7日(水) 冬季休業中												
1月5日(月)まで学校閉庁日です。 *5日(月)は、学童保育は行っています。												
8	木	★始業式 午前授業	六中始業式		4	4	4	4	4	4		
9	金	★午前授業 安全指導 計測①②③			4	4	4	4	4	4		
10	土											
11	日											
12	月	成人の日										
13	火	給食始 計測④⑤⑥	SC PTA 役員会		5	5	5	6	6	6		
14	水	★避難訓練 放課後学習			5	5	5	5	5	5		
15	木	児童集会 なわとび月間始 どうぶつふれあい授業⑤			5	5	6	6	6	6		
16	金	読み聞かせ リーダー引継ぎ会議			5	5	6	6	6	6		
17	土											
18	日											
19	月				5	5	5	6	6	6		
20	火	児童朝会 クラブ	SC		5	5	5	6	6	6		
21	水	★4時間授業(教員研修のため)			4	4	4	4	4	4		
22	木	児童集会			5	5	6	6	6	6		
23	金				5	5	6	6	6	6		
24	土	小学校造形作品展										
25	日	小学校造形作品展										
26	月				5	5	5	6	6	6		
27	火	児童朝会 クラブ(3年生見学のため6時間)	SC PTA 運営委員会(書面)		5	5	6	6	6	6		
28	水	★4時間授業 6年生のみ5時間授業(研究授業) 放課後学習			4	4	4	4	4	5		
29	木	児童集会(リーダー引継ぎ式)			5	5	6	6	6	6		
30	金	★4時間授業(教員研修のため)			4	4	4	4	4	4		

## ～お知らせ～

### 奥多摩渓谷駅伝大会の報告

12月7日(日)に行われた奥多摩渓谷駅伝大会では、女子チームが第2位、男子チームが第4位の結果でした。練習から一生懸命に取り組み、当日も必死に走る姿が立派でした。保護者の皆様の当までのサポートや当日の温かいご声援、ありがとうございました。

### 相談シートを配布しています。

〈保護者の皆様へ〉

お子様が、悩みや不安がある際は、いつでも学校に相談することができます。

しかし、周囲の大人に相談しにくい、直接話すことができないなどあった場合は、一人で抱え込まずに、配布した相談シートを活用し、相談することができます。

御家庭におかれましては、学校生活における出来事について話し合う機会をもっていただき、お子様が「痛いな」「恐いな」「おかしいな」「モヤモヤするな」「イヤだな」と感じることがあれば、学校に御相談いただくか、相談シートや各種相談窓口をご利用ください。相談シートは、性暴力等だけでなく、体罰等に関する相談も記載することができるようになっております。

### 研究授業・教員研修による授業時間の変更にご注意ください。

校内での研究授業や、他校での教員研修のため、授業時間に変更があります。ご注意ください。

1月21日(水) 教員研修のため全学年4時間

1月28日(水) 校内研究授業のため、6年生のみ5時間、他学年は4時間

1月30日(金) 教員研修のため全学年4時間